

奈良医大附属病院を受診された患者さまへ

当科では下記の臨床研究を実施しております。

病理診断、細胞診断のために組織あるいは細胞を採取された患者様の検体から作製されたパラフィンブロックやプレパラート等（病理検体）を、診断目的に用いるだけではなく、医学教育や医学研究に使用させて頂くことがあります。

これらの教育や研究は、すでに採取された検体を用いて行われますので、患者様ご本人の診療内容には影響を与えることはありません。個人情報ならびに患者様情報は、外部から遮断された（インターネットに接続していない）コンピュータで入力を行います。属性を消去し、研究番号に転化することで、完全に匿名化を行います。研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、個人の特特定が可能な情報は削除されます。

ご自身の検体の使用をお断りになった場合でも、診療上の不利益にはなりません。研究に関して不明な点については、病理診断学までお問い合わせ下さい。

研究課題名	新たな免疫染色抗体を用いた中皮腫診断法の開発
研究責任者	廣島健三（東京女子医科大学 八千代医療センター病理診断科教授）
共同研究者	大林千穂（奈良県立医科大学・病理診断学） 石川雄一（（公財）がん研究会がん研究所） 岡輝明（関東中央病院・病理科） 尾崎大介（千葉労災病院・病理診断科） 武島幸男（広島大学大学院医歯薬保健学研究科・病理学） Aliya Noor Husain（シカゴ大学・病理学教室） 辻祥太郎（神奈川県立がんセンター・臨床研究所） 宮城洋平（神奈川県立がんセンター・臨床研究所）
本研究の目的	現在、中皮腫の診断は主に形態学的診断と免疫組織化学染色で行われていますが、分化度が低い場合など中皮マーカーが陽性とならず、診断に苦慮することがあります。新規抗体である HEG1 を加えることで診断率が向上するかどうかを検討します。
該当期間	1995年1月1日～2017年7月31日
研究期間	倫理審査委員会承認後～2019年3月31日
対象となる患者さま	上記期間内に奈良医大附属病院にて悪性中皮腫と診断された患者様で、呼吸器外科で生検を受けられ、その際に研究・教育利用に

	関する包括同意書をご提出いただいた患者様
取り扱うデータ	年齢、性別、画像所見、臨床・病理診断
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。研究に使用する検体は匿名化したうえ、破損や紛失に十分注意しデータセンターである東京女子医大八千代医療センターに送り、研究を実施し、これについては研究責任者である廣島健三が管理します。患者さまの個人情報は病理診断学講座で大林千穂の責任のもと、厳重に管理します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	相談窓口：奈良県立医科大学病理診断学講座 担当者：大林 千穂（教授） 電話：0744-22-3051 E mail：ohbayashi@naramed-u.ac.jp